



令和5年5月31日(水) 草津市立渋川小学校 学校だより 第3号



各学年の発表を食い入るように見つける1年生。

全員が一堂に会することのすばらしさ

新型コロナウイルスの法律上の位置付けが5類になり、社会生活は大きく様変わりしました。そして、学校生活もずいぶんコロナ前の様子に戻りました。

特にそのことを強く実感したのが、3年半ぶりに全校の児童を集めて開いた全校集会での校歌を聞いたときでした。体育館に響く歌声を聞いた瞬間に、忘れかけていた気持ちがよみがえり、身震いするような感覚を覚えました。

そして、先週は、『1年生をむかえる会』を開催しました。1年生を歓迎するために、各学年が歌やクイズ、パフォーマンスなどの趣向をこらした出し物を発表したのですが、やはり、期待に胸をふくらませている1年生が目の前にいるのといないのとでは、2年生以上の子どもたちにとって張り合いが違います。体育館には、すてきな笑顔があふれ、そして、心のこもった大きな拍手が何回も鳴り響きました。本当に素晴らしい時間、楽しい時間を、全員で共有することができました。

「個の時代」と言われて久しいですが、コロナ禍がそれに輪をかけることになりました。「みんなとの共通体験」「みんなとの感動体験」「みんなとの直接体験」の多くが奪われました。そして、3年以上の時間をかけて徐々に戻り、ようやくみんなで“盛り上がる”ことができるようになってきたと感じ、たいへんうれしい気持ちになりました。子どもたちもそのことを感じ取っていたようで、会の開始前にもかかわらず、1年生の入場曲を試みに流しただけで一斉に大きな手拍子が起こるほどでした。

一人ひとりががんばる部分とともに、このように皆で時間と場を共有することで、友だちや仲間のすばらしさに気づけるような、すてきな時間を過ごすことができるようにしていきたいと思います。

(校長：井上 忠之)



見事な進行で、会を取り仕切る児童会執行部の子どもたち。



それぞれの学年が、工夫した楽しい発表を披露しました。



2年生の様子です。年下の1年生にいいところを見せようがんばりました。



1年生からも、お礼の出し物として体操を披露したり、校歌を歌ったりしました。



日	月	火	水	木	金	土
				1 検尿(2次) 歯科健診(5年、 3-1、3-2) 2年 町たんけん お話を聞いて週間 (~6/13)	2 検尿(2次) フレンズデー 4年 お話会 5年 わくわく(郷 土料理学習)⑤	3
4	5 クラブ活動⑥ 5年 お話会 3年 アトム文庫 さん読み聞かせ	6 6年 プール掃除	7 あおぞら お話会 6年 わくわく (ゆりかご水田)	8 歯科健診(1年、 3-3) 5年・あおぞら わくわく(味噌づ くり)	9 4年校外学習(び わ湖ホール、ロク ハ浄水場) 3年 お話会 6年 わくわく(近 江茶)	10
11	12 プール開き あおぞら アトム 文庫さん読み聞か せ	13 歯科健診(6年、 4-1、4-2) 2年 食に関する 学習	14 6年 わくわく (愛彩菜)	15 3年 わくわく (盲導犬)	16 1年 眼科健診 1・2年 お話会	17
18	19 委員会活動⑥ 4年 アトム文庫 さん読み聞かせ	20 4年 わくわく (葉山川探検)	21	22	23 学習参観⑤	24
25	26 クラブ活動⑥ 5年 わくわく (郷土料理) 5年 アトム文庫 さん読み聞かせ □座振替日	27 歯科健診(2年、 4-3、あおぞら)	28 6年 お話会	29 6年 租税教室	30	



このコーナーでは、子どもを褒めたり認めたりすることについて、掲載させていただきます。お家での声かけ等の参考になればと考えています。ぜひご一読ください。

●ある学級では、子どもが先生に「まちがってもいい?」と聞いてきて、先生は「まちがっていいよ。どんどん失敗していこう。」と声をかけたそうです。失敗から学ぶことはとても大切なことですが、子どもは案外失敗を恐れているかもしれません。大人でも失敗することはよくあることですが、つついお家では、「できて当たり前」と思ってしまったら、忙しさの中で、できるだけ失敗してほしくないと思ってしまうこともあるでしょう。失敗しても大丈夫だという雰囲気が学校でもお家でも、つくれるとよいですね。そして、失敗を振り返って、どうしたらできるようになるのかを話しながら一緒に考えることも、大切な一歩ではないでしょうか。

文：人権・共生教育部会